

でも12月5日に公務分野からの  
貧困実態告発集会を開きます。  
(30歳男)

### 《セミナーの運営についての 意見、要望等》

・各界からの報告をしぼった方が  
いいのでは。他の講演会などでも  
そうですが、音響のチェックは  
30分以上前に万全に(63歳)

・温泉地での開催は、保養もでき  
大変嬉しかった。今後も温泉のあ  
るところで開催してほしいと思  
いました。(47歳男)

・シンポジウムを受けて、次の日  
県の交渉にみんなで出向くとか、  
街頭宣伝をするとか、何か具体的  
実践ができたと思います。(50  
歳男)

・事務局を担当された方のご苦労  
に心からの敬意を表します。(47  
歳)

・全体的にうまくいったと感じて  
います。貧困キャッチ相談コーナ  
ーなどをつくって、相談を求めて  
いる人に対応できればと思いま  
す。(57歳女)

・途中まで会場が寒かった。(59  
歳男)

・現状のままでよい(40歳男)

・喫煙者、禁煙者の部屋割りを徹  
底したほうがよいかも(30歳男)

・教員はどうしても他の職種の  
方々のお話を聞く機会が少ない  
ので、とても勉強になりました。  
神田先生がおっしゃっていたよ  
うに横断的な情報交換がとても  
大切だと思います。(46歳女)

### 《今後取上げて欲しいテーマ や企画内容について》

・組織の拡大強化にも一層努力し  
ましょうよ。自治体問題に携わっ  
ている人、また住民も含めてたく  
さんいるわけですよ。また、全国  
の自治体学校にもたくさん出か  
けるように取組みましょう。(58  
歳男)

・高齢社会問題。(47歳男)

・①「貧困・格差の実態を告発す  
る～各界からの報告～」について。  
第2回目を企画して欲しい。でき  
るだけ多くの方に聞かせたい  
(1000人規模)

②それぞれのパネラーのテーマ  
(教育、年金、中小企業など)一  
つに絞ってやってみてはどうか。  
(50歳男)

・女性問題などもテーマにして取  
上げて頂きたい。(57歳女)

・①小・中学生の生活実態。何を  
考えているのか。小・中学生  
の現状。子どもと家庭。

②青年の現状。(59歳男)

・環境問題～幅が広いのでどうや  
れば？(65歳男)

・セミナーでも「青森市でも公契  
約条例のようなものを実施して  
いる」という話も出ていましたが、  
2009年9月29日に千葉県野田市  
で公契約条例が制定されたのが  
大きくニュース等でも取上げら  
れています。来年になると一年た  
つので、自治研でも「公契約条例」  
の現状、展望を取上げるのもよい  
と思います。(30歳男)

・多重債務の実態と解決方法(56  
歳男)

### 今こそ「満身創痍」の原子 力政策を転換するときⅢ.

④無謀な高レベル放射性廃棄物  
(ガラス固化体)地層処分  
-日本列島に「地層」処分の  
適地なし-

高レベル廃棄物の「地層」処分  
を行い得る「地層」とは、以下の

通りです。

①地下水含有量が低い

②断層(特に活断層)や割れ目  
が存在しない

③浸透性が低い

④地震や火山がない

⑤地下資源がない

⑥岩質が均一で堅硬である等  
ところが、先述のように日本列  
島は地震の巣であり、地層処分を  
行い得る「有効な地層」がありま  
せん。

高レベル放射性廃棄物の処分  
計画改定(07.12.18)で、立  
地を数年延期、また、現行精密調  
査地区選定期間を平成20年前半  
から同年中頃に、最終処分施設建  
設選定期間を平成30年後半から  
40年前半に延期されました。

NUMO(原子力発電環境整備  
機構)が、TRU廃棄物も公募開  
始しましたが、応募がない状況で  
す。内閣が変わる度に、知事と時  
の首相が「確約文書」をとりかわ  
し、それを、高レベル放射性廃棄  
物の最終処分地にしないことの  
「担保」としているし、三村知事  
もそれを踏襲していますが、以前  
県議会で、日本共産党が追及して  
いたように、まったく「担保」な

どにはならないと考えてよいでしょう。

### ⑤日本原燃・六ヶ所ウラン濃縮工場やめよー「欠陥」工場から新型遠心分離機導入の新施設工場へー

1992年に操業開始したウラン濃縮工場は、はじめ150トンSWU/年を目標に、最終的には1500トンSWU/年の生産を目指し事業が開始されたものです。ウラン濃縮は、軽水炉でウランを燃やすために燃える<sup>235</sup>Uを2～4%程度に濃縮を高めるのがウラン濃縮です。〔天然ウラン鉱石は99.3%燃えない<sup>238</sup>U（ウランの質量数238）で占められ、燃える<sup>235</sup>U（ウランの質量数235）は0.7%にすぎません。〕遠心分離機で分離するので膨大な電気を必要とします。国内の発電の濃縮需要はおよそ5,000トンSWU/年。1,500トンSWU/年を達成しても、約1/3と「海外依存」に変わりないものです。

さて、六ヶ所ウラン濃縮工場ですが、現在稼働しているのは、7つの生産ラインのうち1つだけです。相次ぐ遠心分離機の不具合

で現在は、150トンSWU未満です。そのラインも、3,272台の遠心分離機が停止しています。一部の関係者からは「欠陥商品」だと指摘されています。ここにも日本原燃の濃縮技術や再処理技術の困難さを安易に見る開発姿勢に懸念を感じざるを得ません。劣化ウランを大量に作り出し、経済性、安全性に問題のある新しいウラン濃縮方法での施設は中止すべきです。

### 最後に一核燃料政策の転換の好機（米国も原発政策の転換）

「原子力政策大綱」は、前述のように、あらゆる面で行き詰っています。また「原子力長期計画」以来半世紀を経過しながら、今もって、推進側から独立した原子力の安全規制体制はいまもって実現していません。

設計寿命を終えつつある原発と、日本列島の地震活動の活発化の時期を迎え、原発・再処理工場の危険は重大化しています。

原発推進とプルトニウム利用を軸とする原子力政策を根本的に見直し、独立した原子力の安全規制機関を確立することは急務

体として大変感銘を受けました。大切に活用させていただきます。また鹿内市長さんのマニフェスト内容参考になり、すばらしいと存じます。（69歳男）

・青森市長の講演、とても興味深く聞きました。ただ、質問したかったが時間がないようなので、できませんでした。2日目の貧困と格差のテーマでとても参考になりました。（47歳男）

・1日目の県農民連の須藤さんのお話、2日目のシンポジウムの内容は、国、県、多くの人に聞いてもらい、共に話し合いたいと感じました。（50歳男）

・2日目のプログラムは、各界からの実態を踏まえた報告で、本当に勉強になりました。このような取組みが各地で開かれることを期待します。（47歳）

・鹿内市長の話、マニフェストに対する具体的な進行状況がリアルに話され、興味深く聞きました。

青森県の自治体に係わるセミナーをこうして継続して頂いていることに、大きな意義を感じます。2日目の貧困・格差の実態、非常によかった。（57歳女）

・民主党の政策と農地法の改正に

ついて整理して理解できた。市長の講演は具体的でよくわかった。

（59歳男）

・青森市長の話のみしか参加できませんでしたが、たいへん身近なことも話をしていただき、たいへん有意義でした。来年度もよろしくお願いします。（57歳男）

・今日の食糧・農業・農村と農業政策を考える食糧自給率の問題が特に印象的でした。りんご農家の大変さが分かりました。（40歳男）

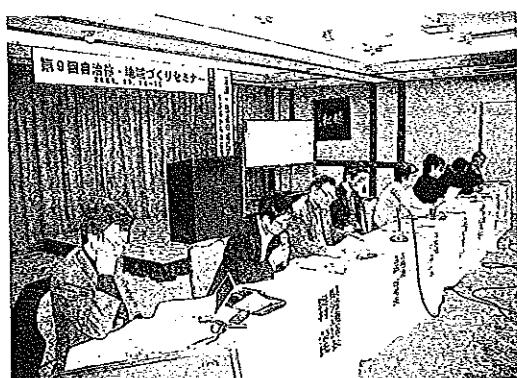
・農地法問題も深められました。青森市政が大変なこと分かりました。（65歳男）

・株式会社が農地取得した場合の問題点が「転用」にあるとは思ってなかったのが驚きでした。またりんご王国の青森でも「りんご加工品、果汁が実は輸入品がかなりある」というのも驚きでした。スーパーなどではものを買うとき、肉でも加工品でも原料が「国産」を選ぶ人も多いと思いますが、まだまだ原材料表示の穴があるとは……。鹿内市長が奮闘している（とくに住民対話を進めながら）報告がよかった。2日目の企画の方が面白かった。県公務共闘

が行われました。

質疑討論、休憩のあと、午後4時から鹿内宏青森市長による講演「半年を振り返って、今後の市政を考える。～市民と作る市政をめざして～」が行われ、第一日目を終了しました。

## 第2日目



午前9時から、「貧困・格差の実態を告発する」をテーマにして、神田副理事長をコーディネーターに、青商連、県教組、県労連、私教連、青生連、年金者組合、民医連の七つの団体による報告と質疑討論が行われました。

最後に中里理事長の閉会のあいさつで、全日程を終了しました。

## 参加者の感想

15人の人から以下のような感想が寄せられました。

《プログラムの中で印象に残ったことまたは全体の感想》

・改正農地法を学ぶことができました。鹿内市長のお話を聞くことができ、参考になった。(56歳男)  
・鹿内市長の講演、来年も聞きたい。横山教授の基調講演、わかりやすかった。時間配分がうまい。

(63歳)  
・決して盛りだくさんではありませんよ。このぐらいのプログラムでいいですよ。あえて言うと情勢報告(あるいは記録)などあってもよからうかと。例えば「県内の・・・の動向」とか。(58歳男)  
・横山先生の講演―農地法の「改正」について、何が問題なのか理解を深めることができました。

青森市長の講演―努力されていることがよくわかりました。市政運営の基本に憲法をすえるという姿勢があると、もっとすばらしいと思います。国も自治体も憲法を生かすことを忘れてしまっていることが多いので(60歳男)。

・横山先生の食農政策提起、問題等とても貴重なお話と資料等、全

です。アメリカではサブプライムローンを契機とした世界的金融危機と、「変革」を掲げ当選した大統領オバマにより、原発政策は大きく変換されつつあります。

ブッシュ政権時代は核不拡散などと言って、ウラン供給や使用済み核燃料の直接処分から再処理路線に変え、原発拡大政策に転換したものが、再度オバマ大統領により180度転換され、グリーンニューディール政策へと変わったのです。

日本でも使用済み核燃料は、直接処分へ、原発拡大政策から環境にやさしい太陽光発電、風力発電、廃棄物発電、バイオマス発電等、再生可能なエネルギーの利用へと変えましょう。

日本も民主的な政治勢力が今回の衆院選で勝利するならば、エネルギー政策の転換に大きな展望を切り開くことになるでしょう。原子力政策を原子力委員会が決めるのではなく、国民の論議の上国会で決めるように変えたいものです。

その他、日本原燃・電事連・国に対しては、原子力関連に働く労働者養成問題、派遣労働問題、科

学技術者養成問題などの多くの問題がありますが、別の機会に述べたいと思います。(終わり)

《総会での講演》(その3)

④民医連院所の存在意義。

◇電気・ガスを止められ、倒れている受給者の相談に、「役所はお金は出すが、生活支援をしてくれるところではない」

63歳の女性のアパートの隣人から「電気・ガスが止められているようなので、心配で懐中電灯をもって訪ねたら倒れていた。食事もしばらくとっていないようで、大家さんに連絡したら生活保護を受けている人だそうで、これから相談にいきたい」と8月初旬、事務所に電話が入りました。

◆市内に親戚が居ない63歳の女性の状況は

※昨年の秋頃、大型店で買い物をしていたときに怪我をし、救急車で病院に入院。病院を転院した後、介護保険利用の年齢でないことで退院したが、その後急速に歩行が困難になった。生きる気力がなくなったようだ。

※歩行困難で部屋を這っている。  
※会話が普通にできない状況。

2009年12月7日 第50号

【事務局】青森自治研 三上正悟

〒030-0852 青森市大字大野字若宮 165-19

TEL 017-762-6234

# 自治研

## 第9回自治体・地域づくりセミナー開かれる

2009年11月14日(土)～15日(日), 浅虫温泉 南部屋で第9回自治体・地域づくりセミナーが開かれました。

全体の参加者は二日間を通して延べ95名でした。

セミナーは木村副委員長を司会者にして進行しました。

### 第一日目



午後1時20分から、神田副理事長による開会の挨拶のあと、岩手大学人文社会科学部教授 横山英信氏の基調講演「今日の食糧・農業・農村と農業政策を考える。～平成の『農地改革』の問題点は何か?～」が行われました。

その後、青森県農民連 須藤宏氏による特別報告「青森県の実態」

※おむつを自分でやってそれを便所へそのまま捨てている。

※生活保護費は銀行振込みになっていて、銀行に行けなくなつてからは、たまに訪ねてくる昔の仕事仲間に引き出しを頼んでいたかもしれない。

※それもできなくなったので、電気・ガスの支払いが滞り、止められたと思う。

◆アパートの大家は

※3回ほど市役所へ相談に出向いた。市は「65歳にならないと介護保険が適用にならないので、もう2年ばかり待ってくれ」と言うばかり。

※「お金を出すばかりでなく命を守るべきでないか。このままでは死んでくれということではないか」と言うと、「我々はお金だけ出せばいいのだから」と言われ、本当に困っている。

◆福祉課の担当者に電話すると

※大家から相談は受けているというが返事は大家が話した通り。

※一番最後に訪問したのは2ヶ月前。前月末に救急車で県病に行ったとのこと。

※緊急を要する実情を話しても大家に定額で頼めるヘルパーを

紹介したからというだけで、すぐ訪問するという対応はなし。

◆すぐ、大家・相談者と一緒にアパートを訪問すると

※ヘルパーが掃除した後で、外はおむつなどのゴミの山。本人は数ヶ月入浴していない。食事も数日とっていない状態。服のまま寝たり、歩けないので転がっていたらしく、部屋は嘔吐・汚物のおいがひどい状態。栄養状態が悪く、うつろで会話も困難な状態。

民医連の事務局の方に相談し、緊急に病院と連絡を取り入院。

ポイント1行政からも遺棄される低所得者。隣人と大家がいなければ孤独死か?

ポイント2病院が、介護保険との関係でも、64歳以下であっても老化が原因とされる以下の病気(特定疾患)により要介護状態や要支援状態になった場合にサービスを受けられることを知らなかった。

ポイント3民医連事務局が、相談を受けてすぐに対応している。患者の立場に立った医療、患者の人権を守る構えができていなかうかがわれている。(続く)